

施策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040102-08-290
基本事業：	02	生活習慣の改善とこころの健康づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	週2回以上運動をする市民の割合 定期的に歯科検診を受けている市民の割合 喫煙している市民の割合 睡眠・休養がとれている市民の割合		担当課	健康推進課
			担当係	健康推進担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成08年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		心の悩みを抱えている人への適切な対応ができるゲートキーパーを養成し、自殺予防対策の充実を図る。また、心の健康づくりに関する正しい知識の啓発を行う。 ・精神科医師等による講演「心の健康づくり講演会」（H13～） R5：54人 ・ゲートキーパー養成 R5：136人				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		生活習慣病予防や歯科保健に関する正しい知識の普及・啓発を図るために医師・保健師・歯科衛生士等による健康教育を実施する。 ・歯科教室：歯科衛生士による講話とブラッシング指導（H8～） ・講師派遣事業・健康相談事業  福岡県地域自殺対策強化交付金（普及啓発事業）：交付率1/2				

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
心の健康づくり講演会参加者数	人	0	54	60	60			100
歯科教室参加者数	人	22	98	100	100			100
5. コスト								
事業費	計	千円	153	136	213	226		
	国	千円			0	0		
	県	千円	45	34	43	122		
	地方債	千円			0	0		
	その他	千円			0	0		
一般	千円	108	102	170	104			
正職員人工数	人工	0.5	0.5	0.5	0.5			
正職員人件費	千円	3,864	3,908	4,012				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	4,017	4,044	4,225	226			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	<状況>心の健康づくり講演会参加者は令和5年度54人、歯科教室参加者は98人となっています。 <要因>心の健康づくり講演会については、テーマを前向きなものとしたことで、定員の9割の参加となりました。引き続き、興味を引くようなテーマで行い、市民のこころの健康づくりに努めます。 歯科教室については、シルバー人材センター等大きい団体に教室を実施することができたため、参加者数が大きく増えています。 <課題>引き続きゲートキーパーの養成を行うことで自殺対策を推進していきます。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	あり
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり
成果向上余地	中程度		
心の健康づくり講演会は定員60人に対し54人が参加された。			

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）  ・20～40歳代の歯科検診受診率が低く、市の成人歯科検診受診者の8割が要治療者であることから、歯科保健のさらなる普及啓発に取り組む必要がある。そのため、教室開催にとどまらず、他事業においてもチラシ配布等を行い啓発を行う。
--

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）  ・歯科教室は口腔衛生向上を図るため、平成8年度から実施。 ・精神保健法（第46条正しい知識の普及）により、市民の精神的な健康の保持増進に向けて平成13年度より講演会を開催。 ・自殺者数が年間3万人を超える状況が続き、平成18年10月に「自殺対策基本法」が制定された。	備考・特記事項 or 進行管理欄  平成18年10月には、「自殺総合対策大綱」が策定され「個人の問題」とされてきた自殺が「社会の問題」と認識されるようになった。令和4年自殺総合対策大綱が見直され令和6年3月に本市の自殺対策計画を見直し「第3次健康ちくしの21」と一体的に策定した。
---	--